

# ◇第 97 回関西学生陸上競技対校選手権大会◇

[ロードの部]中止 [T&Fの部]2020年10月20～23日 於:ヤンマーフィールド長居

## 〈男子2部〉

順位	1位	2位	3位	4位
大学名	大阪大	大阪市立大	びわこ学院大	神戸大
総合得点	128.5	113	64.5	62
トラック	94	76	52	35
フィールド	34.5	37	12.5	27
混成	—	—	—	—

## 〈女子〉

順位	1位	2位	3位	...	16位
大学名	立命館大	園田女子大	武庫川女子大	...	神戸大
総合得点	169.5	106.5	73.5	...	11
トラック	122	66	24	...	11
フィールド	34.5	39.5	42.5	...	0
混成	13	1	7	...	0

## 〈男子〉

種目	順	氏名(学年)	R	記録 (風)	備考
100m	6	喜多政天(4)	決	10"84 (-0.8)	
			準	10"65 (+1.7)	自己新タイ
			予	10"69 (+0.5)	
	近藤佑哉(M2)	準	10"97 (+1.7)		
		予	10"84 (+2.0)		
		予	11"03 (+0.2)		
山根雄(M2)	予	10"90 (+0.8)	自己新 歴代14位		
	7	喜多政天(4)	決	22"29 (+0.0)	
			準	21"68 (+2.1)	
予			21"84 (+0.2)		
高岡祐大(3)	準	21"56 (+1.3)	自己新 西カレA 歴代3位		
	予	22"10 (+0.8)			
	予	22"33 (+0.0)			
山根雄(M2)	予	22"10 (+0.8)			
	4	高柳正徳(M1)	決	49"10	
			予	49"51	
予			50"14	大学ベスト	
渡邊拓海(1)	予	50"14			
	800m	篠原直生(1)	予	1'55"36	
			予	1'56"16	自己新 関カレA
予			1'57"28		
南部慎(M1)	予	1'57"28			
	1500m	松井悠真(4)	決	4'14"58	
			予	3'58"86	自己新 歴代7位
予			4'08"43		
谷垣賢(3)	予	4'08"43			
	横谷陸哉(1)	予	4'10"29		
		5000m	佐々木太一(1)	タ	15'35"11
タ				15'50"37	
タ	15'59"35				
10000m	若江亮平(3)	決	31'59"35		
		決	32'45"35		
		決	33'14"17	大学ベスト	

種目	順	氏名(学年)	R	記録 (風)	備考			
110mH	5	高岡祐大(3)	決	14"71 (-0.5)				
			予	14"65 (+1.8)				
			予	15"80 (+2.1)				
上田陽介(1)	予	15"80 (+2.1)						
	南部達哉(2)	予	DNS					
		予	DNS					
3000mSC		6	佐々木太一(1)	決	9'25"16	大学ベスト 歴代8位		
	決			DNF				
	決			DNF				
10000mW	2	荒堀功三(2)	決	47'32"50				
			4	若江亮平(3)	決	48'57"50	自己新 歴代8位	
					4×100mR	5	喜多(4)高岡(3) 近藤(M2)山根(M2)	決
予	41"26							
4×400mR	7	高柳(M1)渡邊(1) 西澤(2)南部慎(M1) 後藤弘(2)高柳(M1) 渡邊(1)今城(3)	決	3'18"01				
			予	3'19"88				
			走高跳	3	後藤昂(M2)	決	2m05	
5	南川魁生(2)	決				2m00	自己新 歴代5位	
		決				NM		
		棒高跳	山崎大毅(2)	決	DNS			
走幅跳	7			安藤寛峻(2)	決	6m84 (+0.9)	大学ベスト	
					本山大暉(1)	決	6m64 (+0.6)	大学ベスト
		三段跳	5			岩井勇樹(M2)	決	14m20 (+1.1)
砲丸投	8			芦田充(2)			決	11m88
					円盤投		7	矢野大輔(2)
		やり投	3			梶浦雅之(3)		
7	芦田充(2)			決				

## 【主将 田上涼太】

OB・OGの皆様、無観客試合として行われた今年度の関西インカレでしたが、ライブ配信を通して応援してくださり誠にありがとうございました。今年度の関西インカレは新型コロナウイルスの影響で開催が危ぶまれましたが、無事開催されたことをありがたく思います。大会の運営に当たられた皆様に厚く御礼申し上げます。

5月に前幹部からバトンを受け約5か月間、関西インカレに向けて取り組んできましたが、初めの3か月間は全体練習もままならない状況で、前幹部の「関西インカレ1部昇格」という目標をそのまま受け継いだだけでは形だけの目標になってしまうという幹部の中からの意見もあり、部員のモチベーションが少なからず低下していた自粛期間中において、少しハードルを下げた目標でも確実に達成することがチームとして最善の取り組みではないかと考えました。夏休みが始まり全体練習を再開して2か月の間で、結果として答えは出ず、前幹部の目標を引き継ぐわけでもなく新たに目標を設定するわけでもなく、幹部として目標を掲げないまま関西インカレを迎えることとなってしまいました。これまでの先輩方の取り組みを無下にしまい、申し訳ありませんでした。

各大学のエントリーが発表され、分析上では神戸大学は総合4位で、分析通りの総合4位という結果を収めたことは、自粛期間中の各々の取り組みの成果だと考えております。幹部としてどのような目標であれ一つの軸を立てておけば、せめて総合3位という結果に終わることができたのではないかと反省しております。

一方で、62点を獲得し総合4位という結果はここ数年の中で評価すべき結果であることは間違いありません。分析を覆す得点も多く、**来年の関西インカレで神戸大学陸上競技部が上位を争うこと**が現実味を帯びてきました。今後の課題の1つ目は、パート単位での成果は出ているものの神戸大学全体として戦っている印象を受けないということです。良い結果を出しているパートの雰囲気は他パートに伝播していないように感じます。2つ目の課題は、複数種目に出場する選手の負担が大きくなっていることです。多くの選手がそれぞれ種目を絞って全力を発揮し勝ちにこだわることであれば、より好記録・好順位が望めます。関西インカレ1部昇格に向けて、**神戸大学陸上競技部全員で戦い得点することが最重要**だと考えております。幹部としましてはそのために行えることをこれから考え実行してまいります。

そして、次回の関西インカレに向けて「**関西インカレ1部昇格(総合120点獲得して優勝)**」という幹部目標を掲げます。私たち新70期幹部は今回の関西インカレの反省を活かし、必ずこの幹部目標を達成し、神戸大学陸上競技部の今後ともご支援、ご声援のほどよろしくお願い申し上げます。

〈女子〉

種目	順	氏名(学年)	R	記録 (風)	備考
400m		佐長亜彩(4)	予	1'02"11	
1500m		小坂みゆ海(3)	予	DNS	
5000m	5	仲野由佳梨(4)	決	16'48"20	
		小坂みゆ海(3)	決	DNS	
10000m	2	仲野由佳梨(4)	決	35'47"62	
100mH		和三はるか(3)	予	DNS	

種目	順	氏名(学年)	R	記録 (風)	備考
4×100mR		白井(3)和三(3) 岩倉(4)山口(1)	予	50"47	
4×400mR		山口(1)和三(3) 佐長(4)前田(2)	予	4'09"01	
棒高跳		白井(3)	予	NM	

#### 【女子主将 和三はるか】

今年は試合数が少なく、標準切りが難しかったということもあり全員出場は叶いませんでしたが、出場選手は短期間で出来る精一杯の力は尽くせたと感じています。今、神戸大学女子の部員数は非常に少なく、リレー種目は他種目専門の選手を借り出して戦っている状況にあります。しかしこの状況は、部員の種目間での可能性を広げられる点では優れており、相対的に競技力を上げることが出来ると考えています。今冬季練習は、女子部員全員で走り込むメニューに取り組み、より一層団結力や競技力を高め、来年に繋げていきたいと思っています。応援ありがとうございました。

## 各パート長コメント

#### 【短短パート長 仁尾航太】

関西インカレ4日間応援ありがとうございました。短短パートとしては、決勝進出者数は分析以上でしたが、獲得点は13点と得点分析に及ばない結果となりました。今回の関西インカレで最後勝ち切る力が足りないことを痛感しました。約半年後の関西インカレに向けて、決勝でもしっかり走りきれぬ力、最後に勝ち抜き勝負強さを冬季練習で身につけられるように頑張ります。

#### 【短長パート長 藤川隼佑】

今年度の関西インカレは例年と大きく異なる状態の開催となりましたが、パートとしては例年以上の活躍により、得点分析を上回る成績を残してもらえてパート長としてもうれしい限りです。これもひとえに練習形態が変わりつつある中でもできることを着実にこなしていった選手自身の努力が実った形だと思います。ただ、全体として考えた時に神戸大学が長く掲げている目標の一つである「一部昇格」へは及ばぬ形となってしまった事実はしっかりと受け止め、短長パートから来年度そういった目標へ牽引していけるようになることを目指していきたいと考えています。

さて、今年度の冬季練習では、パート全体での能力の向上を目標として練習に取り組んでいこうと考えています。これは、パート全員が戦力を目指すことはもちろん、練習での競る機会などを増やすことでトップ層の走力をより伸ばしていくことができると考えているからです。具体的には練習の量を全体的に増やすこと、ウェイトルームが使えるかわからない状況なので、それを補えるようなメニューを考えていくことを考えています。

#### 【ミドルパート長 谷口佳史】

初出場の人が多い中、積極的なレースを展開してくれました。結果は1点も取れませんが、決勝に行く可能性は十分あります。冬季に地力をつけ、タイムを持っていない人は春先の試合に合わせて、タイムを持っている人は関西インカレで実力を最大限発揮できるよう切磋琢磨していきます。一部昇格に貢献できるよう、ミドルパートで団結して練習に取り組みますので、これからも応援よろしく願います。

#### 【ロングパート長 田上雄士】

開催時期がずれ、ロングとしては走りやすい気候での試合となりました。10000mWでの大量得点のほか、自己新・大学ベストがいくつか出たことは大変喜ばしく思います。しかし全体的に長距離種目のレベルが高く、なかなか入賞圏内で争えない力不足な部分が課題として残りました。来年度に向け、2部上位校にロングパートが得点で離されないことが重要になると考えます。そのためにもロング全体の走力を上げ、入賞圏内で争える可能性のある選手を1人でも多く出すことを目指し練習に取り組んでいきます。

#### 【跳躍パート長 白井晴香】

跳躍パートは、投擲パートと共に、得点分析通りの点数を取るという目標をたてていました。結果は、当初の予定を上回る得点を取る事ができ、分析上の圏外からの入賞、自己ベスト、大学ベストもあり、良い結果であったと感じています。しかし、その反面、思うような結果が出なかった部員もいました。また、今年は院2回生の方を中心に得点を獲得していました。そのため、来年に向けては、卒業される先輩の分を下級生がカバーし、パート全員が納得のいく結果を残すことができるようになる必要があると考えています。走力を課題とする選手が多いため、今後は、冬季練習の間で走力を中心に強化していきます。その上で、冬季の間でそれぞれの部員が、自身の専門種目における課題を解決し、冬季練習が終わる頃に、その前とは違った跳躍ができていくという状態を目指します。また、他パートとの合同練習を積極的に取り入れ、部としての一体感を高めていきたいです。1.2回生の人数が多いという跳躍パートのメリットを活かし、競い合い、お互いに高めあいながら、来年の関西インカレ1部昇格のために、全力を尽くしていきます。

## 【投擲パート長 梶浦雅之】

2020年の関西インカレで、投擲パートは砲丸投げ、円盤投げ、やり投げの出場した全ての種目で得点することができ、また来年度の関西インカレにおいても、上位入賞を期待できるような結果となったと考えております。特に、エントリー時での順位を上回る得点を取ることができたという点が来年の上位入賞の可能性を高く表していると思っております。

しかし、個人での技術的な課題や、投擲パートとしての課題もまだまだ山積みであります。2020年10月23日から来年度の関西インカレを見据えてパート内で行った話し合いの中では、各々の課題の他にも、来年度の投擲種目の人数を危惧する声も上がりました。この問題に関して、神戸大学陸上競技部ができることは自らの大学の出場者数を増やすことだと結論付けました。しかし、課題が山積みということは伸び代が無量大という考え方もできます。また、投擲パートはその課題を「昇華」できるチームであると全員が感じていると思います。2部のチームが例年に比べて来年は少ない中、2021年の関西インカレは、「投擲種目といえば神戸大学が強かった。」と思われるような結果で、フィールド部門で優勝、また総合優勝に貢献できるような準備を冬季練習の間に行う所存でございます。来年度も投擲パート並びに神戸大学陸上競技部の今後にご支援、ご声援のほどよろしく申し上げます。

# 出場者コメント

## ~1日目~

### 【女子400m予選】

佐長亜彩(4) 1'02"11

女子400mに出場させていただきました。個人での関西インカレ出場は初めてで悔いのないような走りを、全力を出し切ることを考えて走りました。前半は突っ込んで走れたものの、後半で失速してしまい結果としては自己ベストからは程遠い結果となってしまい、努力不足でした。この結果を踏まえて残り1ヶ月練習に励みます。

### 【2部男子400m予選】

高柳正徳(M1) 49"51 q

ランキングは10番でした。松岡(和)が大不調と聞いており、松本(阪大)、志賀(阪大)、徳田(市大)に次いで四番目の実力かなと思いました。徳田には何度か直接勝っているのだから表彰台も狙えるかなと思いました。

3組2着+2.1組目にランキング上位がないため1組目から自分より持ちタイムが遅い人が着で上がると考えました。また、自分の組は内側に志賀、松岡がいるため序盤からハイペースなレースにしてプラスで拾われることを想定して望みました。

調子の仕上がりは80%でした。思ったよりハイペースにならず、運良く決勝に進めました。

渡邊拓海(1) 50"14 大学ベスト

男子400mに出場させていただきました。1回生という立場でこの大会に出させていただく大変貴重な経験を無駄にしないよう、思いきったレースを意識して臨みました。結果としては決勝に進出できず、残念な思いが大きいです。後悔の残らないレースを展開できたと同時に、たくさんの改善すべき点が発見できた実りのあるレースでした。これから、見つかった課題に焦点を当て、来年以降さらなる活躍ができるよう練習に励んで参ります。ご声援ありがとうございました。

### 【2部男子100m予選】

喜多政天(4) 10"69(+0.5) Q

予選は調子やレースの流れを確認するために力をセーブしたのが、リラックスにつながり余裕を持って通過できたので予選としてはいい滑り出しができました。

近藤佑哉(M2) 10"84(+2.0) q

最後の対校戦ということで、楽しみつつも決勝進出を目指して臨みました。関カレまで良いレースができていませんでしたが、風にも恵まれ10"84のセカンドベストで準決勝に進むこと

ができました。一瞬でしたが、とても楽しいレースでした。

山根雄(M2) 10"90(+0.8) Q 自己新

人生初の関カレでとても緊張したレースでした。予選では申請タイムが組4位でしたが準決勝に進むには2位以内+αだったため2位を目指しました。結果は自己ベストを更新し、2位になることができました。大舞台で実力以上の力を出すことができ更に100m出場者全員で準決勝まで進められたのでほっとしました。

### 【2部男子110mH予選】

高岡祐大(3) 14"65(+1.8) Q

着順で決勝に進出することを目標に走ったので、予定通りの走りができました。

上田陽介(1) 15"80(+2.1)

今回は110mHのみの出場となりました。A標準だけは切ろうという目標で挑んだのですが、それとは程遠い結果となってしまいました。原因は明らかで、スプリント不足でした。逆にこれが原因で、専門である走幅跳のB標準も切ることができなかったのも、冬季で走り込みに勤しみたいと思います。来年の関カレは専門の走幅跳と、今回出場した110mH、それに加えて三段跳、この3種目での出場を目指します。出場するからには入賞を狙います。そのためにも、冬季でスプリントを鍛えようと思います。

### 【2部男子三段跳 決勝】

岩井勇樹(M2) 14m20(+1.1) 5位

私は関西インカレで引退試合でした。最後の試合ということもあり、自分の実力を十分に発揮することと、競技を楽しむことを心がけました。結果としては、5位入賞でした。正直なところ、結果に全く満足はしていません。ベスト記録すら出せなかったためです。無観客試合ということで、応援の声がないので集中力を切らさないことを意識していました。結果的に、最終跳躍では良い形に持っていきかけたのですが、運悪くファールでした。最終跳躍でやっとギアを上げられるような自分に対して、経験不足と不甲斐なさを感じました。ただ、競技を楽しみ、結果的に得点を取れた点に関しては良かったと感じています。



## 【女子 4×100mR 予選】 50"47

### 1 走 白井晴香(3)

49 秒台を出すことが目標でした。結果は 50.47 秒で目標を達成することはできませんでした。個人の走りとしては、調子は良かったものの、他大学の選手との実力差を痛感しました。来年こそ 49 秒台を出すために現在の課題である足が流れてしまう点の克服を中心にこれからの練習に取り組んでいきます。

### 2 走 和三是るか(3)

リレー全体としては、バトンパスが全て上手く行ったものの、目標タイムの 49 秒台には届かず不甲斐ない結果となってしまいました。個人的には、他大学のエースの選手と良い感じに競って走れたと感じたので、この冬季練習を死ぬほど頑張りたいと思います。

### 3 走 岩倉美晴(4)

3 走を走らせていただきました。全員がバトンミスなく走り切れたことは大変嬉しかったのですが、目標にしていた 49 秒台には届かず悔しかったです。応援ありがとうございました。

### 4 走 山口莉穂(1)

前回、バトンパスを失敗してしまい不甲斐ない結果となってしまったので、その屈辱を果たすことを目標としていました。当日バトンはすべてうまくいきましたが、49 秒台は出せず、大阪大学に負けてしまったので来年は京大に勝ち、50 秒を切ります。

## 【2 部男子 4×100mR 予選】 41"26 Q

### 1 走 喜多政天(4)

リレーの予選では他校にリードを保ち堅実にバトンを繋げたので、1 走としての仕事はこなせたと思います。結果も着実に予選を通り、安堵の気持ちが大きかったです。

### 2 走 高岡祐大(3)

バトンパスがうまくいった。着順で決勝に残ることを目標に走ったので、予定通り決勝に行くことが出来た。

### 3 走 近藤佑哉(M2)

3 位入賞を掲げて挑みました。予選では、レース直前に 4 走の山根が足を攣るといふハプニングがありました。なんとか山根を楽に走らせるために、必死に走りバトンを繋ぎました。結果としては予選を 3 位で通過することができました。

### 4 走 山根雄(M2)

予選で 2 位+α で決勝に上げられるため、予選は 2 位以内が目標でした。しかし、100m の疲れで試合開始約 15 分前に足をつってしまいました。怪我してもいいから何とか決勝に行くことを目標にしました。結果うまく走れませんでした。本番では何とか 2 位以内に入り決勝に行くことができました。直前にアクシデントをおこしてしまい本当に申し訳なかったです。

## 【女子 10000m 決勝】

### 仲野由佳梨(4) 35'47"62 2 位

ずっと先頭で走る自信がなく、途中まではついていこうと思っていましたが、最初かなりのスローペースだったので、もっと早く前に入るべきだったと思います。5000m 付近から前に出ましたが、それでは遅かったと反省しています。立命館大学の選手はスピードがあり、ラスト勝負になると勝てないと思っていたので、残り 3000 から 2000 辺りでもう一度ペースを上げようと考えていましたが、上げることが出来ませんでした。思った以上にきつくなり、最後は足が動きませんでした。自信を持てるだけの練習が出来ていなかったこと、スピードを強化してこなかったことなどが、この結果に繋がったと思います。

## 【2 部男子 10000m 決勝】

### 若江亮平(3) 31'59"35

前年の関カレを見てから入賞することを目指して 1 年間練習してきました。2 週間前に足を痛めてしまったり、調子をうまく合わせられなかったりとベストなコンディションで臨むことはできませんでした。入賞を狙ったレースをしました。結果としては 9 位という取ってはいけな順位となったので、来年は上位入賞できるよう怪我と不調には気をつけて練習していきます。

### 矢田絢介(4) 32'45"35

本来であれば、幹部として臨む関西インカレでした。なかなか精神的にしんどい時期もありましたが、この舞台で 100% の力を出し切り、前回出場時のリベンジを果たせたことを嬉しく思います。

### 岡田卓也(2) 33'14"17 大学ベスト

結果としては 24 人中の 17 位、33'14"17(大学ベスト)と言う結果になりました。

もともと標準記録は 5000m での突破となっており、得点分析の際、その予想順位を測ることは難しかった為、今回は順位よりも、丹後駅伝に向けて良い流れを作れば良いと言う気持ちで出走しました。

そして、以上の様な結果になったのですが、正直なところ、不本意な結果でした。部活自粛中も自分の中で工夫して練習してきたつもりだったので、もう少しそれを結果として出したいと言う気持ちが大きいです。僕は大学入学後、10000m の試合でうまく走れた試しが無かった事もあり、今回は終盤で失速したくないと言う気持ちに駆られていました。もっと積極的な気持ちでレースを展開したかったです。

ここからすぐに丹後駅伝があります。もし正選手に選ばれれば、その時こそ他の区間の選手を勇気づける様な積極的な走りをしたいと思います。

また、来年こそは 10000m やハーフで得点に絡める様に、これからの冬季練習ではしっかりと練習を積んでいきたいと思っています。

## ~2 日目~

## 【2 部男子砲丸投 予選】

### 芦田充(2) 11m88 8 位

今回は、10 位のランキングから 8 位になることを目標に試合に臨みました。結果として 8 位で目標達成とは言えるのですが、やはり 4 投目以降のことをいうと一つ上の順位をとりたかったです。来年は、優勝します。

## 【2 部男子 100m 準決勝】

### 喜多政天(4) 10"65(+1.7) Q 自己新タイ

自分は決勝に残る実力が十分あったので、落ち着いて着順を取ろうと考えていました。しかしレース中盤で並ばれたことで身体が固まり失速しました。それでも決勝に残れるだけの安定感を今シーズンにつけられたことは良かったと思います。

### 近藤佑哉(M2) 10"97(+1.7)

今年こそは決勝進出、という気持ちで臨みました。しかし、気持ちが強すぎてスタートから力んでしまい、思うように走ることができませんでした。調子は悪くなく、ベスト付近(10"70)のタイムを出せば決勝に進むことができたため、悔しさの残るレースでした。来年はもうありませんので、後輩がこの試合で活躍できるよう技術などを伝えていきたいと思っています。応援ありがとうございました。

山根雄(M2) 11"03(+0.2)

決勝ラインである4位までの4人が抜きんでいたこと、前日に足をつってしまいコンディション不良であることを踏まえると厳しいレースでした。しかし、目標は決勝で走ることなのでなんとかして頑張ろうと思いました。しかし7位で11秒台を出してしまい、決勝には行けませんでした。ほぼ実力通りの結果を発揮することはできましたが目標を達成できず悔しかったです。視聴やサポートしていただいた方ありがとうございました。

【2部男子1500m 予選】

横谷陸哉(1) 4'10"29

決勝進出を狙って前半から集団についていきましたが、力及ばず、最後の一周で先頭から大幅に遅れてしまいました。単純に走力が足りなかったと痛感しています。ラスト勝負にも対応できるスピード持久力をつけられるよう、今後はインターバル練習などでのスピードの切り替えをより意識的に頑張ろうと思います。



谷垣賢(3) 4'08"43

私は、自己ベストでの決勝進出を目標に取り組みました。これは、現在の私の自己ベスト、シーズンベストから考えてもチャンスがあったと思います。ですが、結果としては全く思った通りにはいきませんでした。その原因として、走力の他、中距離特有の位置取りの下手さが考えられます。これは、普段の記録会等でもっといろいろなパターンを試すべきでした。この冬季では、走りの部分はもちろんのこと、そういった技術も身につけていきたいと思っています。また、現在のままの練習ではまた同じことを繰り返すだけなので、抜本的な改革を行い、4回生になる来年は、今回の経験をしっかり活かし、3分代と関カレ入賞を目標に取り組みます。応援よろしく願っています。



松井悠真(4) 3'58"86 q 自己新

まずは決勝へ出場することを目標に走った。ラストで競り負けてしまい着取りでの決勝が叶わず残念だったが、プラスで決勝に上られ、自己ベストも出たので結果的には良かった。

【2部男子110mH 決勝】

高岡祐大(3) 14"71(-0.5) 5位

決勝では表彰台を狙っていたが、結果としては5位で終わってしまった。少なくとも3位は取らなければいけないレースだった。得点分析から大きく点数を落としてしまったので、来年は得点分析以上の走りをできるように、頑張っていきたい。

【2部男子100m 決勝】

喜多政天(4) 10"84(-0.8) 6位

決勝は自分の走りをするだけを考えて挑みましたが、大一番で力を発揮する難しさを改めて痛感しました。正直レース内容を思い出すだけで未だに動悸がしますが自分の弱さを受け止め、来年この汚名を返上したいと思います。



【2部男子400m 決勝】

高柳正徳(M1) 49"10 4位

タイムで拾われた事が幸いして、好みのインレーンに入れました。予選の200m通過が23秒8と遅かったため、予選より前半200mの出力を主観的に5%上げるイメージに修正しました(85%⇒90%)。予選よりは前半加速のできたレースになりました。

一つ外レーンの摂南大学の選手はよく視界に入りましたが、もう一つ外の徳田(市大)にまで意識を向けることができず、結果として四位でした。予選レース前に80%の仕上がりと評価した通りの結果かなと思います。

個人で初の決勝に行けたことは自信にしていこうと思います。

サポートしてくれた方、前日当日と応援してくれた方、本当に励みになりました。そして何より嬉しかったです。本当にありがとうございました。



【2部男子1500m 決勝】

松井悠真(4) 4'14"58

最低でも入賞はするつもりで走ったが、最初の位置取りが悪く気が付いたら前との差が広がっており、途中からは集中力が切れてしまった。不甲斐ない走りになってしまった。



【2部男子4×100mR 決勝】41"31 5位

1走 喜多政天(4)

決勝では予選よりタイムを落としてしまうチームとしての脆さが露呈したことを重く受け止めています。後続が焦らないで済むよう前半でリードを取れるような1走を目指し、短距離チームを年長者として牽引していきたいと思っています。

2走 高岡祐大(3)

決勝はタイムも順位もうまくいかなかった。予選から決勝になるとタイムが落ちてしまう課題を来年の関カレに向けて治していきたい。

3走 近藤佑哉(M2)

僕が最後に失速してしまい、バトンミスをしてしまいました。それがなければ、目標であった3位入賞を狙えたと思うと非常に悔しいです。それでも僕が入部してから最高の順位である5位をとることができました。最後にこのチームで走ることができて本当によかったです。来年は優勝も狙えると思うので、後輩たちには是非とも頑張ってもらいたいです。

4走 山根雄(M2)

目標は3位以内に入ることでした。昨日に足をつった影響で足をいつつの不安の中のレースでした。結果はバトンミスの影響で5位になり、チームベストとは程遠いタイムになってしまいました。決勝のミスした原因は足をつったことへの不安でメンバーの調子の確認が不足し、バトンの調整をしなかったことや私が早出をしたことが原因でした。リレーはチームのスポーツであることを実感させられました。期待していただいた方、視聴していただいた方には十分に力を発揮できず大変申し訳ございませんでした。



4×100mR 3走近藤(M2)→4走山根(M2)

## ~3日目~

【2部男子走高跳 決勝】

後藤昂(M2) 2m05 3位

走高跳に出場し2m05で3位でした。全てをかけてきた日本インカレが終わり、正直モチベーションが全く上がらず、調子もここ数年では1番悪い状態でした。中でも現状できることを試合で出すこと、そしてとにかく最後のインカレを楽しむことを最大の目標として試合に臨みました。持ち記録やランキ

ングの割には今一つの結果ではありますが、現在の状態を考えると実力を出し切ることができたと思います。そして何より、最大の目標だった最後のインカレを楽しむことができたことは良かったと思います。応援ありがとうございました。



南川魁生(2) 2m00 5位 自己新

今回の関西インカレでは、走高跳に出場しました。久々に対抗戦に出場しましたが、記録会とは異なり、記録だけでなく順位も意識して競技することに懐かしさと難しさを感じました。その中で今回は記録をより重視して競技を行おうと決めていたので、その点では今回自己ベストを更新できたことは、嬉しかったです。なにより対抗戦独特の雰囲気、楽しむことができました。

ただ一方で、記録で目標を立てていると、その記録を超えると満足してしまうという面がありました。実際、自分が望んでいた高さ以上はクリアできずに終わりました。走高跳は最後に必ず失敗して終わる競技ですが、だからこそ競技への満足心は、競技中では天敵になると思います。対抗戦だと尚更ですが、今回はうまくその気持ちに対処することができませんでした。と言っても、望んでいた記録が出て満足しないのも悲しいかなと思うので、満足した中でもきちんと勝負できる強さを磨いていきたいと思っています。応援ありがとうございました。



佐藤勇斗(2) NM

男子走高跳に出場させていただきました。2回の佐藤です。当日は朝早く、気温も上がらないことがわかっていたので、生活リズムを整える、暖かい格好でアップを行う、など入念に準備をしました。

しかし肝心の跳躍で助走が合わず、修正することができないまま終わり、力のなさを実感するものとなりました。来年同じ舞台でリベンジできるようまずはもう一度標準を切ることを、そして自己ベストを更新することを目標にし、精度と修正能力を高めることを考えて練習していきます。



【2部男子走幅跳 決勝】

安藤寛峻(2) 6m84(+0.9) 7位 大学ベスト

今回の関西インカレでは怪我からの復帰でシーズン初戦となり、焦る気持ちもありましたが一本一本振り返りながら跳躍できました。今まで高校の記録が自己ベストでそれを更新できずにいましたが、ようやく自己ベストが出せそうな跳躍ができるようになってきたので次の関西インカレに向けて走力をつけ、自己ベストを目指していきたいと思います。応援ありがとうございました。



本山大暉(1) 6m64(+0.6) 大学ベスト

今回の関西インカレは勝つことに意識せず、いまやれることをやろうと思い臨みました。結果は散々でしたが、今の自分を見つめ直すいい機会になりました。これからは走力の強化を中心に飛び出しから着地も加えて練習していきたいと思います。



【2部男子200m 予選】

山根雄(M2) 22"33(+0.0)

準決勝は3位+αで進出できますが申請タイム的に組で6位だったので厳しいレースでした。結果は5位で準決勝まで後0.01秒で進出できませんでした。ベスト近くで走れたことや得点分析の順位より上だったので悔しい気持ちと共に実力不足をより実感したレースになりました。

最高学年にも関わらず200mのメンバーで唯一予選落ちたことは大変申し訳ございません。視聴やサポートしていただいた方ありがとうございました

高岡祐大(3) 22"10(+0.8) Q

3着まで準決勝に上がることができたので、着順で準決勝に進むことを考えて走った。後半は余裕ができたので、準決勝のために少し抑えて走った。

喜多政天(4) 21"84(+0.2) q

予選から着順では次のラウンドに進むのが厳しかったため全力で走りました。予想通りプラスで拾われたため、予選としては上出来の走りでした。

【2部男子800m 予選】

南部慎(M1) 1'57"28

3位以内を目標にして、関西インカレに臨みました。予選は通過することを大前提に考えてレースを組立てようと考えていました。レースでは、自分の狙っていた展開に持ち込むことはできませんでした。しかしながら、力不足と試合観の鈍りにより予選落ちという結果に終わってしまいました。院生という立場で出場させて頂く以上、最低でも入賞しなければいけないところ、このような結果となってしまい、申し訳ございません。来年の関西インカレは、個人的には最後の関西インカレであり、かつ部としても1部昇格の好機です。研究や就活もありますが、もう一度限られた時間を有効活用して、個人としても部としても有終の美を飾れるように精進します。



谷口佳史(3) 1'56"16 自己新 関カレ A

初めての出場ということもあり、挑戦者らしく積極的なレースをすること、そして何よりも楽しむことを意識して試合に出場させていただきました。結果としては、自己ベストを1秒縮めて関西インカレ A 標準突破、得点分析上では26位でしたが予選全体では11位に入ることができました。初めてにしては萎縮することもなく実力を出せたと感じています。しかし、決勝にはあと一歩及ばずという結果だったので、この結果を踏まえ、冬季では決勝で活躍できるだけの地力をつけるとともに、パート長として関西インカレで戦えるチームを作っていきたいと考えております。春先で標準切りを目指す必要がない分、しっかり実力をつけて最後の関西インカレに臨み、結果を残したいと考えております。

今回関西インカレの申し込みをしてくれた主務を筆頭に、支援として会場に来てくれたチームメイト、タイムと動画をとってくれたマネージャーさん、補助員をくださった3年生以上の方々、その他たくさんの方のサポートがあり、我々選手は試合に出場できたと考えております。感謝の気持ちを忘れず、練習に励んでまいります。

最後になりますが、今回の関西インカレは新69期の先輩の集大成となるはずの大会でした。しかし、今回のCOVID-19の関係で、私たち新70期が主体となって挑む大会になりました

た。前主将の関西インカレに対する思いは強く、その熱意を間近で感じて来たからこそ、その思いを受け継ぐべく、自分が標準を切って試合に出てやるんだというモチベーションにもつながりました。曖昧な状態で幹部交代がなされましたが、先輩方の関西インカレに対する熱い思いは、部員の心の中にしっかり残っていると感じています。この気持ちを受け継ぎ、1部昇格の目標を達成させていきます。私を試合に出させてくれて、ありがとうございました。



**篠原直生(1) 1'55"36**

今年は二日後に全国大会が控えている中での出場となり、例年とは違う状況でのレースとなった。チームとして関西インカレを1番の目標とする中で、個人として2日後の大会に備えたいこともあり、迷う中でレースに臨み、予選落ちという結果となった。

来年度以降はこのような日程になることはないと思うので、しっかりチームに貢献できるようなランナーを目指していきたい。



**【2部男子円盤投 決勝】**

**芦田充(2) 33m84**

この種目も砲丸投げと同じく8位を狙って試合に臨みました。結果として、9位は全く良くないといえます。技術面では、ファーストターンの大きさが無いと考えています。来年は、優勝します。

**矢野大輔(2) 35m30 7位**

円盤投に出場しました2回矢野です。今シーズンは自粛期間明けから調子を上げられず、調子の悪い状態で出場しました。そのため記録より順位にこだわる姿勢で入賞を狙いました。練習投擲ではファールを続けてしまいましたが、一投目で記録を残すことができ7位に入賞できました。ただ3本目6本目などの区切りの投擲が失敗であったことや、後半で逆転されながらも記録を伸ばせなかった点に弱さが出ていたように思います。来年はより得点に貢献できるように優勝を狙って、冬季の体づくりに取り組んで行こうと思います。応援ありがとうございました。



**【2部男子200m 準決勝】**

**高岡祐大(3) 21"56(+1.3) 自己新 西カレA**

得点分析上は15位だったが、決勝進出を目標に走った。大幅ベスト更新ができたが、組5着で決勝に残ることが出来なかった。来年の関カレに向けて、200のラストまでしっかり走れるように練習していきたい。



**喜多政天(4) 21"68(+2.1) Q**

準決勝では実力がある選手ばかりだったので、それに釣られず後半にいかにか余力を残すかが課題でした。狙い通りコーナーを抜けたところで順位は真ん中だったので、直線で出力を上げ最後は気持ちで着順をもぎ取れて良かったです。



**【女子5000m 決勝】**

**仲野由佳梨(4) 16'48"20 5位**

10000mの反省を生かし、ラスト勝負になる前に前に出ようと思っていました。実際に残り4周過ぎくらいから前に出られたのは良かったと思います。しかし、ラスト1キロで周りのペースがさらに上がり、それに対応することが出来ませんでした。



5000m、10000m ともに自分のスピードの無さを痛感しました。長距離でもある程度のスピードは必要なので、もっとスピードを強化する必要があると思います。



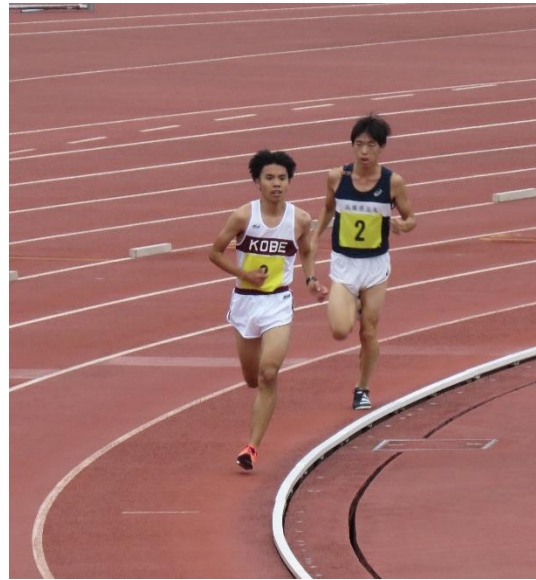
【2部男子 5000m タイムレース決勝】  
松井悠真(4) 15'50"37

5000mの調子は今シーズンなかなか上らず、組自体も悪かったのでベスト付近で走れば良いくらいの気持ちで走った。前日の疲れもあったのか中盤から粘れず、そのまま落ちてしまった。



佐々木太一(1) 15'35"11

今回の 5000m はついていける所まで、8位入賞の集団を意識してついて行こうとしました。2000m まで、1km3分を切るペースで今シーズンの自分の走りからすると1番速いレース展開となりました。この展開はある程度予想出来ていたのですが、驚くことはありませんでしたが、想定より早くペースを落とすことになりました。大学に入って初めて攻めたレースが出来たのでその点は良かったです。来年のA標準がまだ出せていないので、まずそのタイムを目標に冬の記録会に臨みたいです。



【女子 4×400mR 予選】 4'09"01

1走 山口莉穂(1)

今シーズン初のマイルだったので、気負わず自分のペースで走ることを目標としていましたが、1走というもあり、周りの選手に圧倒され、全力を出し切ることができませんでした。来年は私が周りを圧倒するぐらい強くなります。



2走 和三是るか(3)

チーム全体としては、専門種目の選手が少なく寄せ集めだったのにも関わらず、久々に4分10秒を切れたので良かったです。個人的にはラップベストを出せ、2人抜くことが出来たので満足しています。が、次は56秒台を狙って、個人種目でも勝負できるように頑張りたいと思います。



### 3走 佐長亜彩(4)

女子4×400mリレーの3走を走らせていただきました。順位を下げてしまい個人の走りとしては悔しい気持ちでしたが、4分10秒を切ることができ、女子チームとしては大きく前進することができたと思います。



### 2走 高柳正徳(M1)

1走後藤が良い位置で帰ってきて、自分が先頭集団に入り、3走渡邊が位置取り、4走今城がそのまま二着か三着になるという計画を立てていました。1走からは良い位置でバトンを受け取ることができましたが、先頭に付くことができず、少し離れた3番目で3走に渡りました。3走渡邊が一つ順位を上げ快走してくれました。4走今城は調子上がりきらなかったのかなという印象です。幸運にもタイムで拾われ決勝に進むことができました。

### 4走 前田佳穂(2)

人生初の関西インカレと人生初のマイルでした。前にも後ろにも人が居るいい位置でバトンを回してもらいましたが、最後の直線で一人に抜かれてしまいました。課題のスピードを克服して来年は個人種目の出場を目指して頑張ります。最後になりますが、応援やサポートして頂いた方々ありがとうございます。



### 【2部男子4×400mR 予選】3'18"01 q

#### 1走 後藤弘太郎(2)

大学初のマイル！9レーンなのに内側の8レーンがDNS。自分のペースで走ってタイムを狙ったが失敗して全体5位でバトン繋ぐ結果となった。いつもより前半を抑えて最後の100mのカーブから勢いをつけて走ろうと思ったが、計測してみたところ微妙。前半の抑えた意味があまり感じられない。後半に後傾になる癖(?)は比較的ましになり膝下だけで走ってる感じはましになっていたように感じる。最低ラインである49秒台で帰ってくる目標も達成出来ず。レース計画を崩してしまったのも反省。しかも肉離れ。最悪。

初めての関カレマイルでしたが苦い思い出となりました。雪辱は来年に持ち越し。

#### 3走 渡邊拓海(1)

大学に入って初めてのマイルリレーで、1回生という立場もあり、自分にできることは勢い良く走るだけだと考え、積極的なレースを意識しました。個人の400mで見つけた課題、具体的には200mを過ぎてからの切り替えとリズムを特に頭に置いていました。結果としては、先輩方が良い位置で持ってきてくださったこともあり、粘りのレースができたと思います。



#### 4走 今城有貴(3)

第1曲走路でしっかり加速し、バックストレートはそのスピードを殺さずリラックスして走り、残り150mあたりからギアを上げてゴールするというのが理想のプランでした。しかし実際は2位争いの集団から遅れてしまい、力んでしまったのでバックストレートで減速してしまいました。その後もメリハリのないレースをしてしまったのが反省点です。ラップタイムでは最低目標は達成できましたが、競り負けたのは事実なのでしっかり実力をつけていきたいと思っています。



## ~4日目~

#### 【女子棒高跳 決勝】

#### 白井晴香(3) NM

棒高跳びに出場させていただきました。目標は、3m40を跳んで大学ベストを更新し、入賞を狙うことでした。結果は、記録なしでした。悪天候だったとはいえ、今までの試合の中で最低だったと感じる結果です。一人で跳躍練習をしているうちに、高校時代にはなかった悪い癖がついてしまい、それが原因で今までできていたことができなくなってしまっていることが課題です。この冬期は、とにかく跳躍練習をこなし、課題の克服に努めます。3m60という全日本インカレ標準切りを目指して、全力で取り組んでいきます。

#### 【2部男子やり投 決勝】

#### 梶浦雅之(3) 57m16 3位

今年の関西インカレでは表彰台を目標として、挑みました。今シーズンは9月からシーズンインという状況でしたが、状態は良かったにも拘わらず、本番に記録が伸びず、上の順位を取ることができなかったことが悔やまれます。

冬季練習では、特に投擲サークルをうまく活用しながらやり投げにも繋げていく練習をしています。最後に、次の関西インカレでは優勝の一点を目指して冬季練習に臨みます。



#### 芦田充(2) 54m33 7位

この種目は優勝を狙って臨んだのですが、直前のケガもあり1投しか投げられなかったです。試合前の動きに反省点があると思います。しかし、たくさんの人の協力で1本だけでも投げられたという見方もできていると思います。この種目も来年は優勝します。来年に向けて応援よろしくお祈りします。

#### 【2部男子10000mW 決勝】

#### 荒堀功三(2) 47'32"50 2位

応援ありがとうございました。得点して部に貢献するため少しでも上の順位を目指しました。途中で抜かれた時についていけなかったので次の関カレまでの半年間スピードを中心に磨いていきたいです。



#### 若江亮平(3) 48'57"50 4位

今年は走り得点を取ることを意識していたので、競歩は人数を揃えることと1点でも稼ぐことを目標にしていました。関カレ前は週に1度ほど練習していただけなので、ベストが出るとは思っていませんでした。10000mで取れなかった得点を少しでも取り返すことができたのでよかったです。



**【2部男子 200m 決勝】**

喜多政天(4) 22"29(+0.0) **7位**

最終日も準決勝と同じ意識で挑みましたが、どうしても身体が気持ちについて来ませんでした。レースの内容どうこうよりも、予選、準決勝で余力を残して通過できる実力がなかったことが問題だと思います。自分は200mは苦手ですが、今後専門の100mの後半につなげる意味でもさらに実力をつけていきたいです。



**【2部男子 4×400mR 決勝】 3'19"88 **7位****

1走 高柳正徳(4)

昨年決勝で最初から離され、為す術のない結果になってしまった反省を踏まえ、走順の変更をしました。持ちタイム順で1走から並べ、4走は終盤持ちこたえられるだろうと南部にしました。他校の1走のメンバーを見る限り2,3番目で2走に渡せると思いましたが4番目で渡りました。

予選、決勝を通して総じてですが、まずは去年はバトンパスの練習に多くの時間を割き、また展開を熟考し走順を何度も考えたつもりでした。しかし今年の後輩に丸投げてしまい、あまり時間をとらずリレーに臨んだという印象です。予選通ったのがぎりぎりだったのも、決勝で順位が良くなかったのも、この力の入れ方だと納得せざるを得ない結果です。引張っていく立場にあったにもかかわらず申し訳ありませんでした。

来年はこれを踏まえ、バトン、走順の決定を納得するまで行うこと、さらに冬期からはリレーに限らずロングスプリントチームのチーム力向上に貢献する取り組みを行います。

予選、決勝ともに手厚くサポートして頂きありがとうございました。また応援して頂いた方々も励みになりました。ありがとうございました。



**【2部男子 3000mSC 決勝】**

佐々木太一(1) 9'25"16 **6位** 大学ベスト

3000mSCは、オーバーペースになりがちなので落ち着いて入る事を意識しました。最初の1000は3分02秒と、いつもより速い1000となりましたが気持ちは飛ばしている感じではありませんでした。結果、集団から落ちていく人を拾って順位を上げることが出来て良かったです。来年は、スピード練習、障害練習を多く取り入れ上位を狙っていきたいです。



2走 渡邊拓海(1)

チームとして、前半から積極的に前に食らいついていくという考えを持っていた中での2走という走順に少し緊張がありました。考えていたことは予選と同じく、勢いを大切にレースを展開するという事でした。しかし、ここに自分の甘さと、覚悟の無さが出てしまったように思います。200m付近で、競るかどうかの判断もつかない間に後ろにかわされ、そこから少し



若江亮平(3) DNF

途中棄権をしてしまい申し訳ありません。怪我のためうまく障害を跳ぶことができず、これからの足の調子を考えレースをやめました。来年は関カレA標準を切って出場し、入賞することを目指して練習していきます。

チームとしての勢いが落ちてしまったと感じています。8着(最終的には繰り上がって7位)という結果から見ても、自分の力の無さを痛感しました。この先、個人、リレーを通して発見できた課題に焦点を当て、来年度の関西インカレ1部昇格に大きく貢献できるような充実した練習を積んで参りたいと思います。

例年とは違う大会運営の中、サポートやご声援ありがとうございました。



### 3走 西澤憲生(2)

前半から流れを作り、積極的にレースを作っていくというチーム方針のもとで3走を走らせていただきました。3走で離されてはチーム全体で勝負するレースをすることができないので、順位は落とさずに前につくことだけを考えて走りました。結果、前半の走りは良かったのですが、後半の動きに大きな課題と差を感じました。自分の実力以上で突っ込んでも耐えることのできる"メンタル" "走力"が必要だと痛感しました。このマイルでの経験を生かして、短長パートとして更なる躍進ができるよう冬季練習に取り組んでいきたいと思えます。目標として各々の課題を明確化し取り組むだけでなく、チーム力の強化を掲げます。実力のある1回生が入部してくれたので、来年は全力でも視野に入れることが出来ています。チーム内競争も高くなるので、皆で高め合っていきたいです。1部昇格、残留を考えるとリレーで勝つことは必須と言えます。冬季は今回のマイルの課題を潰し、レベルアップする練習に取り組みます。応援、サポート、大会運営に携わってくださった方々、ありがとうございました。



### 4走 南部慎(4)

過去4大会の決勝において、神戸大学のマイルの最高順位は8位だったので、最低7位、あわよくば3位を目標にして走りました。

走り出しから他大の4走に抜かれ、まったくついていけませんでした。また、ラストの200mも、思うような動きが出来ず、起用を決めてくれた高柳をはじめ他のメンバーに、大変申し訳なく思います。

今回の関西インカレでは、個人の800mも含め、力を出し切ることが出来ませんでした。原因としては、力不足と試合勘が戻らなかったことが考えられます。来年はこれを踏まえ、練習に対する取り組み方を今一度考え直し、試合と同じ集中力で練習を行うよう心掛けます。また、試合への出場数を増やし、試合勘を取り戻すことで、勝負所でスピードを上げられるようにします。マイルに関しても、次は実力で走れるように精進します。

最後になりますが、予選や決勝のメンバー、並びにリモートでの応援を含め応援やサポートをして頂いた方々、本当にありがとうございました。



## 2021年幹部目標

# 関西インカレ1部昇格(総合120点獲得して優勝)